

語り継がれる昔話、その魅力

久保 華誉

1 『鬼滅の刃』は昔話の宝庫

- ・昔話とは？
- ・優れた物語（絵本含む）は、「行きて帰りし物語」
- ・昔話は、極端性を好み、主人公は孤立した存在
- ◎「妹の力」（1925） 柳田國男（1875-1962）ヒメミコ制
森鷗外『山椒大夫』（1915）、
堀尾青史脚本『安寿とずし王 下』童心社、1967 年など
- ◎なぜ伝令役は鵲なのか
- ①予知能力 ②伝令・神の使い
- ・死者に寄り添い、死を悼む鳥として→松谷みよ子作・司修絵『ぼうさまになったカラス』
偕成社、1978 年

2 明治期の修身教育とグリム童話

- ・グリム童話「炭と豆と藁」（KHM18） →日本の昔話として管見の限り 80 話以上も
- ◎ドイツのヘルバルト学派、教育主義の流入＝修身教育での昔話利用
- ・明治期の翻案
湯本武比古「をてんばまめ」『修身童話八巻 こぶとり』開発社、1900 年
- ・日本の口承資料
- ・豆を非難する話者、悪者としての豆を避ける話も
日本の昔話絵本の例 つるた ようこ作・絵『まめとすみとわら』アスラン書房、2002 年

3 明治期の口演童話から昔話へ

- ・巖谷小波（1870-1933）による口演童話
- ・柳田国男の批判
- ・トランシルヴァニアの昔話→口演童話→日本の昔話へ
紙芝居の例：巖谷小波 原作・川崎大治 脚本・佐藤わき子 画『なんにもせんになん』童
心社、1972 年

【まとめ】